



2024年5月9日

各位

会社名 EIZO 株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 恵比寿 正樹
(コード番号 6737 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員 経理部長
兼 IR 室長 有生 学
電話番号 076(275)4121

第8次中期経営計画策定に関するお知らせ

Visual Technology Evolution ～EIZO にしかできない映像価値を～

当社は、2026年度を最終年度とする第8次中期経営計画(2024～2026年度)を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画基本方針

当社は1968年の創業以来、一貫して「映像」を核に、独自のビジネスモデルを進化させてきました。これからも Visual Technology Company としてその進化を加速し、映像を通じた豊かな未来社会の実現と企業価値の向上を目指します。

第8次中期経営計画では、EIZO にしかできない映像価値を最大化する製品・サービスを顧客に提供することで、ダイナミックに変化する社会課題を解決し、事業領域を拡大してまいります。EIZO ならではの映像技術で映像ハードウェアを強化するとともに、前中期経営計画期間において事業の基盤を構築した EVS (EIZO Visual Systems) の展開を加速することで、重点市場であるヘルスケア及び V&S 市場を中心に事業を成長させてまいります。また、地域戦略においては欧州・米国・中国に続き、成長著しいインド・中東市場での事業を拡大してまいります。これらにより EIZO ビジネスモデルを更に進化、強化させてまいります。

2. 業績目標

最終年度となる2026年度に連結売上高 1,000 億円、営業利益 120 億円、営業利益率 12%、ROE 8%の達成を目指します。

3. 財務戦略

財務健全性の維持、ビジネスモデル強化のための投資、株主還元の充実の3つのバランスのとれた財務戦略を進めてまいります。

事業成長に基づく利益成長と純資産コントロールにより、資本の収益性は ROE8%を目標に高めてまいります。

4. 株主還元方針

当社は事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付けております。2023 年度から、株主への還元率（総還元性向）の目標水準を連結当期純利益の 70% へと強化いたしました。

第 8 次中期経営計画期間(2024-2026 年度)において、株主還元強化を継続してまいります。還元率の目標水準を連結当期純利益の $70\%+\alpha$ とし、当社の業績、事業環境及び成長投資の資金需要などに応じ、柔軟に還元率を決定いたします。

(注)本計画に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

中期経営計画の詳細は添付資料をご参照ください。

以上



第8次中期経営計画

2024~2026年度

2024年5月9日

証券コード:6737

EIZO株式会社

第8次中期経営計画

Visual Technology Evolution

～EIZOにしかできない映像価値を～

EIZO Business Model Development

2030 サイバー
セキュリティ
5G 生成AI
労働人口減少

2020 インフラ更新
気候変動対応

アミューズメント市場縮小

2010 ネットワーク高速化

デジタル化進展

2000

世の中の動き

Visual Technology Evolution EIZOにしかできない映像価値を

グローバル化 &
Visual Technology Companyへ
アミューズメント縮小も収益基盤を確立

特定市場向け拡大
モニターの特化へ

モニターとAMUのシナジー
事業基盤・財務基盤を確立

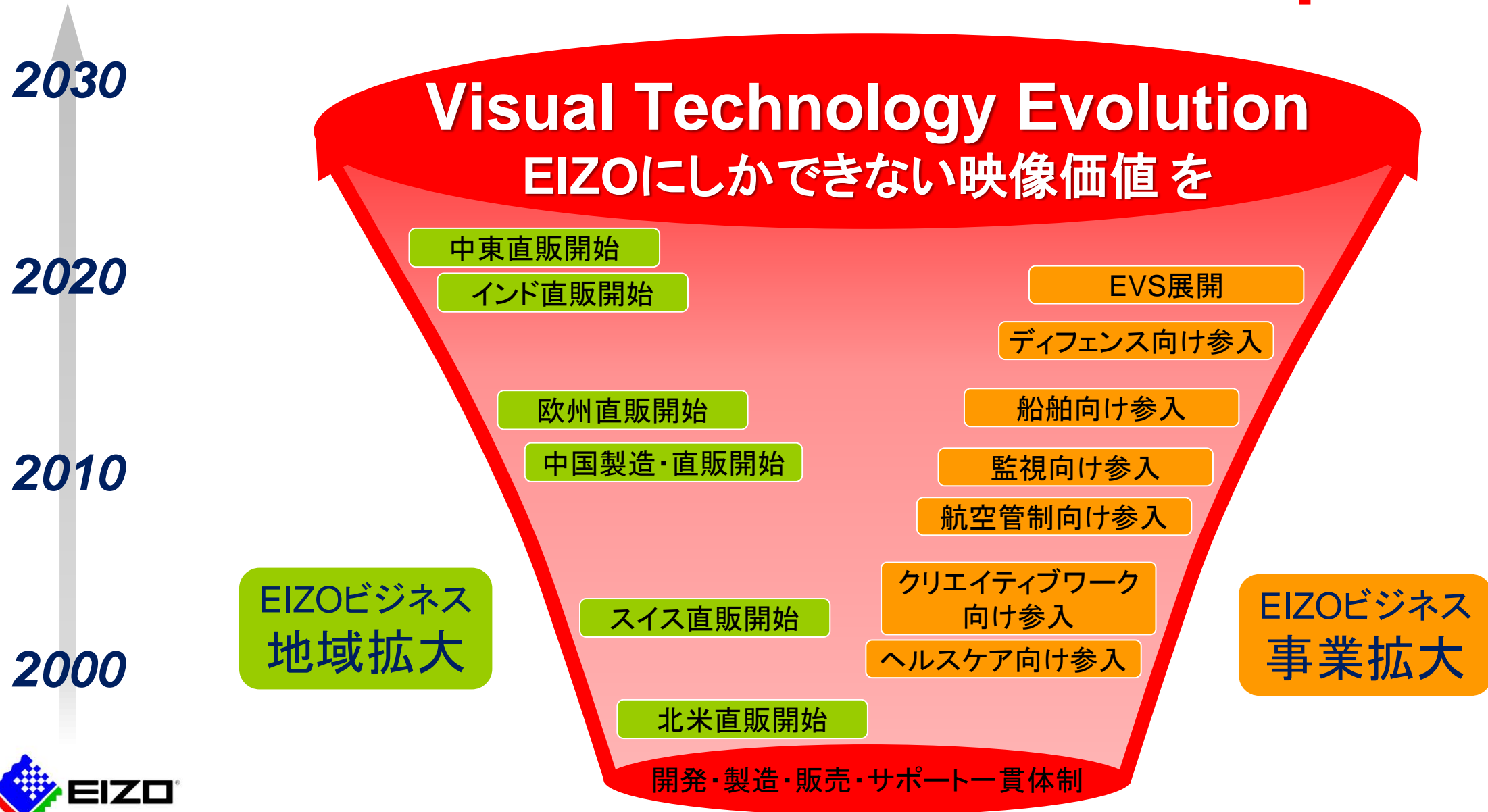
開発・製造・販売・サポート一貫体制



EIZOビジネス展開

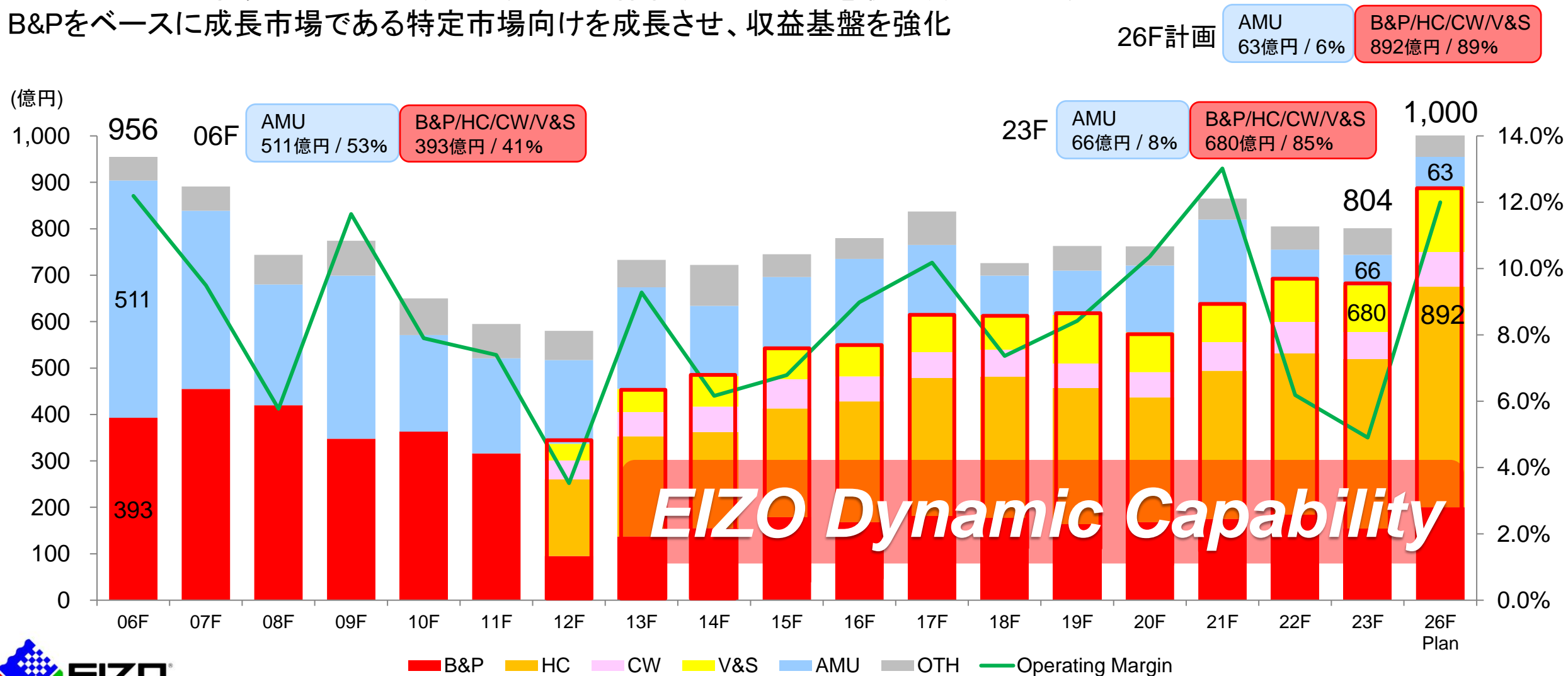


EIZO Business Model Development



EIZO Business Model Development

アミューズメント市場向けが縮小する中、EIZOが保有するリソースを最大限に活用し、B&Pをベースに成長市場である特定市場向けを成長させ、収益基盤を強化



目指す姿

映像価値を最大化
社会課題解決
事業領域拡大

ビジネスモデルを更に進化・強化

Visual Technology Evolution

EIZOにしかできない映像価値を

R&D : 世界No.1の“映像”を

- 市場をリードする“高品質・高信頼性”映像ハードウェア
 - 自社開発で撮影・伝送・記録・表示のイメージングチェーンを構築
- 映像価値を最大化するハードウェアとソフトウェアの融合
 - 映像の利活用をもっと便利に簡単に
- グローバル体制とローカライゼーションによる機動力で製品・サービスの提供力を強化
 - 基幹技術を日本・欧州・北米・中国に広く展開
 - 各拠点の強みを生かした開発とセミカスタム対応



製造・開発一体でものづくりを更に強く

- 人口減少を見据えた生産自動化
 - 持続的な国内生産実現し、強みである製造・開発一体体制を強化
 - 人の依存度を下げつつ、多品種少量生産に機動的に対応
- 顧客満足度向上に向け、柔軟性を高めた生産対応を実現
 - より多様化する製品に対し、セミカスタム対応する新生産システム導入
- グループ生産体制強化
 - 開発体制と連動した生産対応
 - 中国における中国向け生産増強



EVSによる競争力向上・事業領域拡大

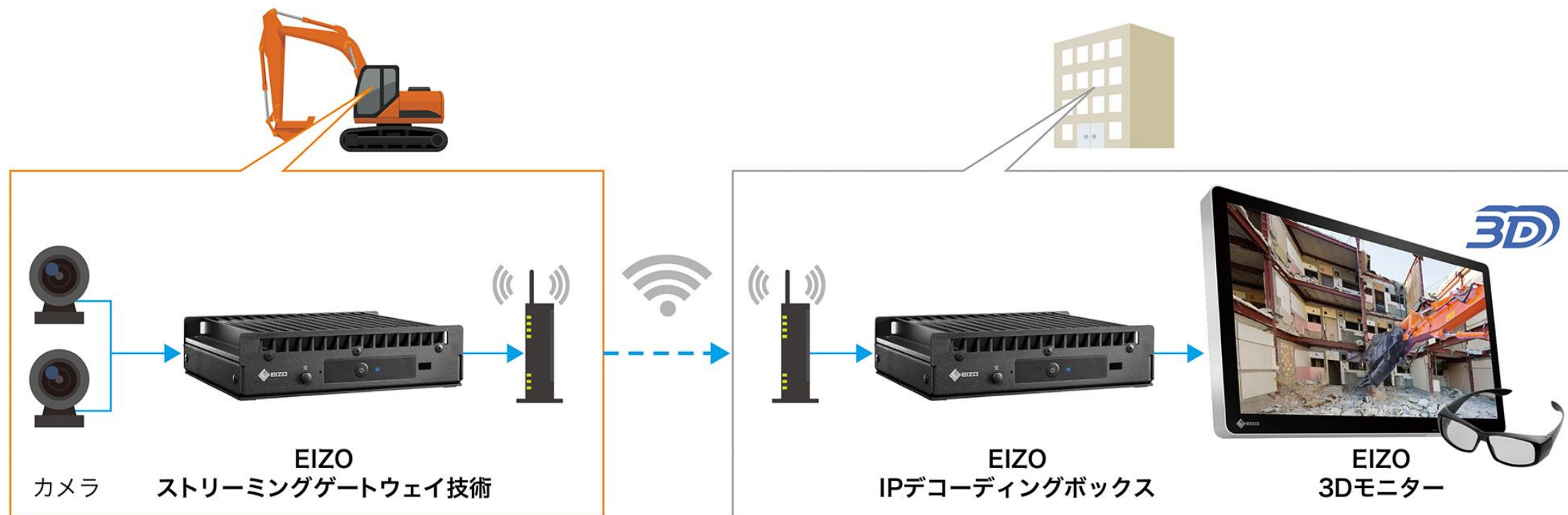
■ EIZO Visual Systems (EVS)

- ソフトウェアでハードウェアの映像価値を最大化
- ハードウェア × ソフトウェアで映像利活用を促進するパッケージ化
- 社会課題を解決するイメージングチェーンで事業領域を拡大



EVS展開事例 ①

建機遠隔操作実現 ▶▶▶ 労働環境改善を支援



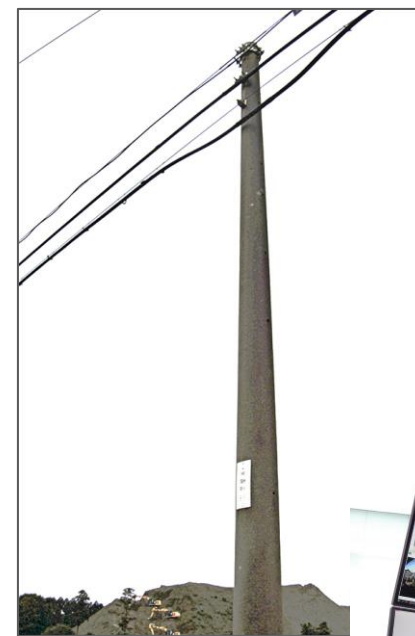
EVS展開事例 ②

インフラ保全画像診断 ▶▶▶ 労働人口減少対策を支援



画像処理

画像鮮明化ソフトウェア



EVS展開事例 ③

術野映像記録システム ▶▶▶ 医療安全・チーム医療を支援



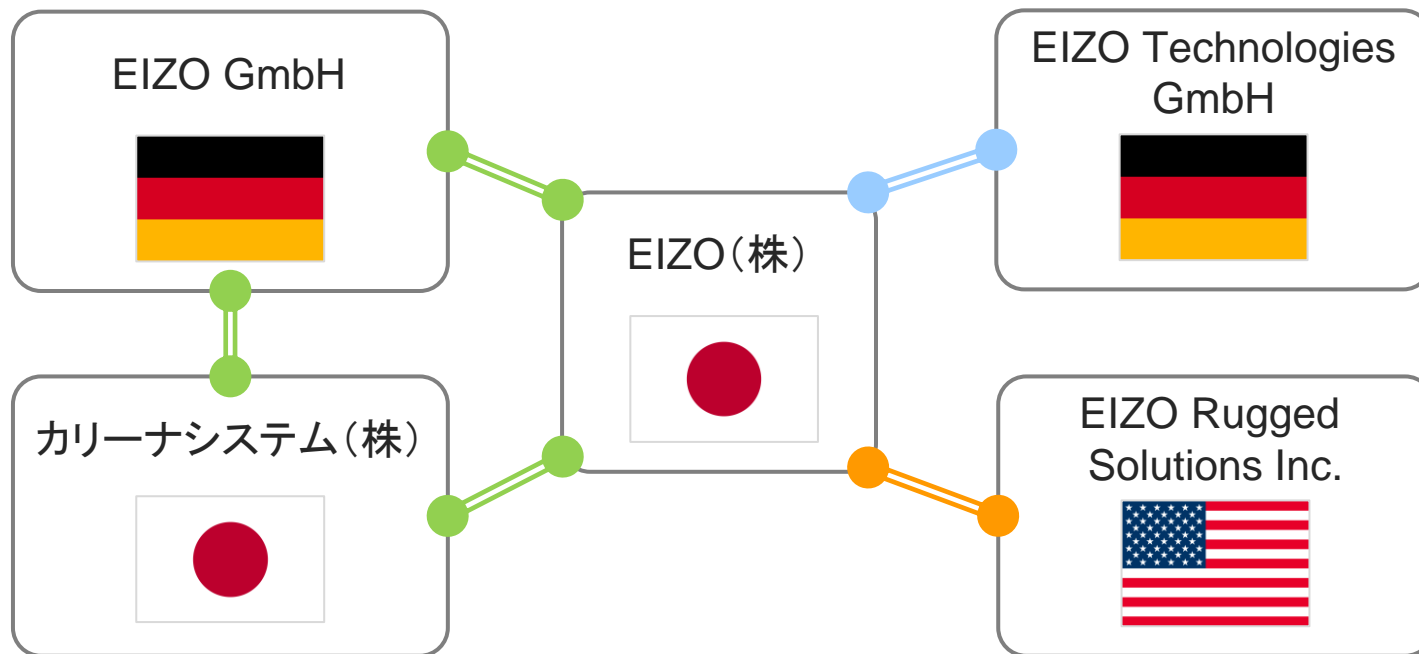
海外市場の拡大

- 欧州・米国・中国に続き、100%の販売会社EIZO IndiaとEIZO Middle Eastの設立、両社それぞれ2030年売上目標50億円



注力市場への取組強化

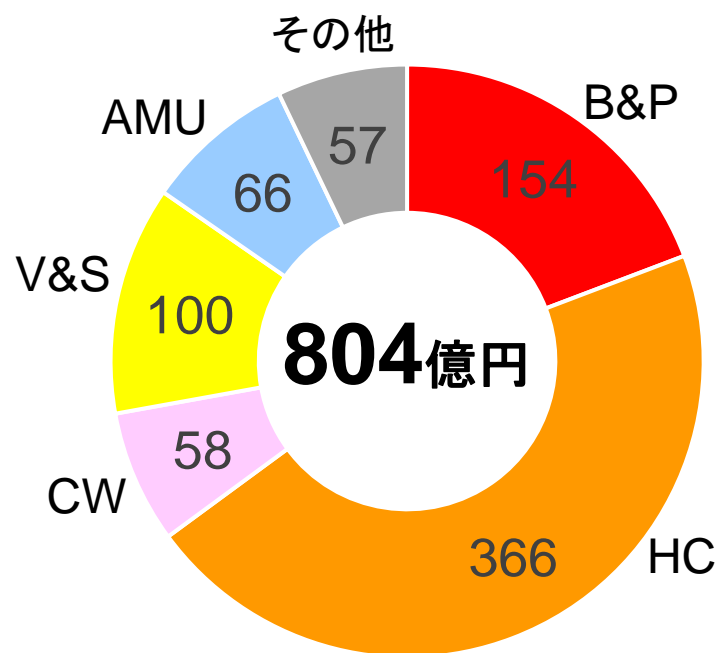
- ヘルスケア・V&S市場の成長に向け、開発・製造グループ会社の得意分野に事業集中、グループシナジーを最大化



ディフェンス市場

26F数値目標

23F実績



売上高

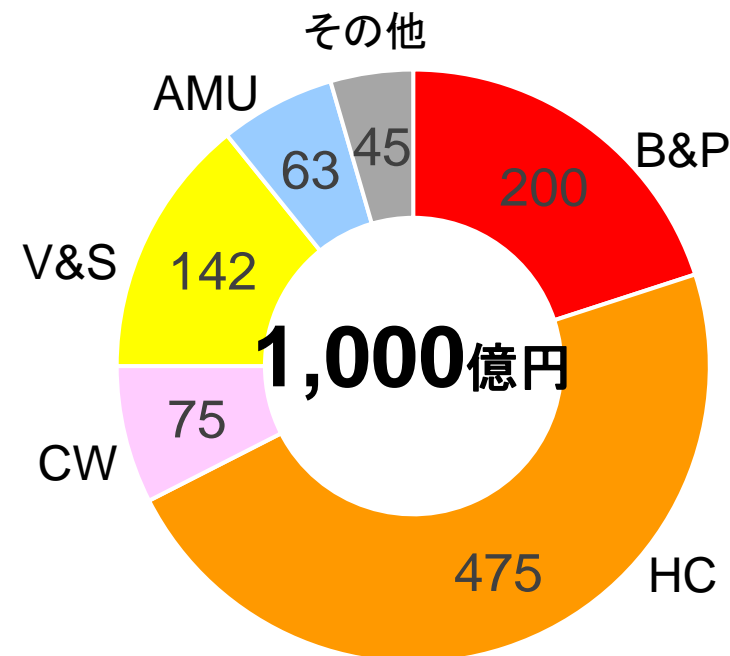
営業利益/
営業利益率

39億円 / 4.9%

ROE

4.4%

26F計画



120億円 / 12.0%

8.0%

サステナビリティ

EIZOにしかできない映像価値の提供を通じて
持続可能な社会に貢献

「映像」を通じた豊かな社会への貢献

自由闊達で創造的に活躍できる企業文化

気候変動への対応

循環型社会への対応

オープンでフェアなガバナンス

サプライチェーンマネジメント

人権・多様性の尊重

マテリアリティ

EIZOグループ行動指針

企業理念

KPI

Scope 1+2 削減(19F比)
30F:70.0%減
26F:61.5%減
24F:58.0%減

Scope3削減(19F比)
30F:27.5%減
26F:17.5%減
24F:12.5%減

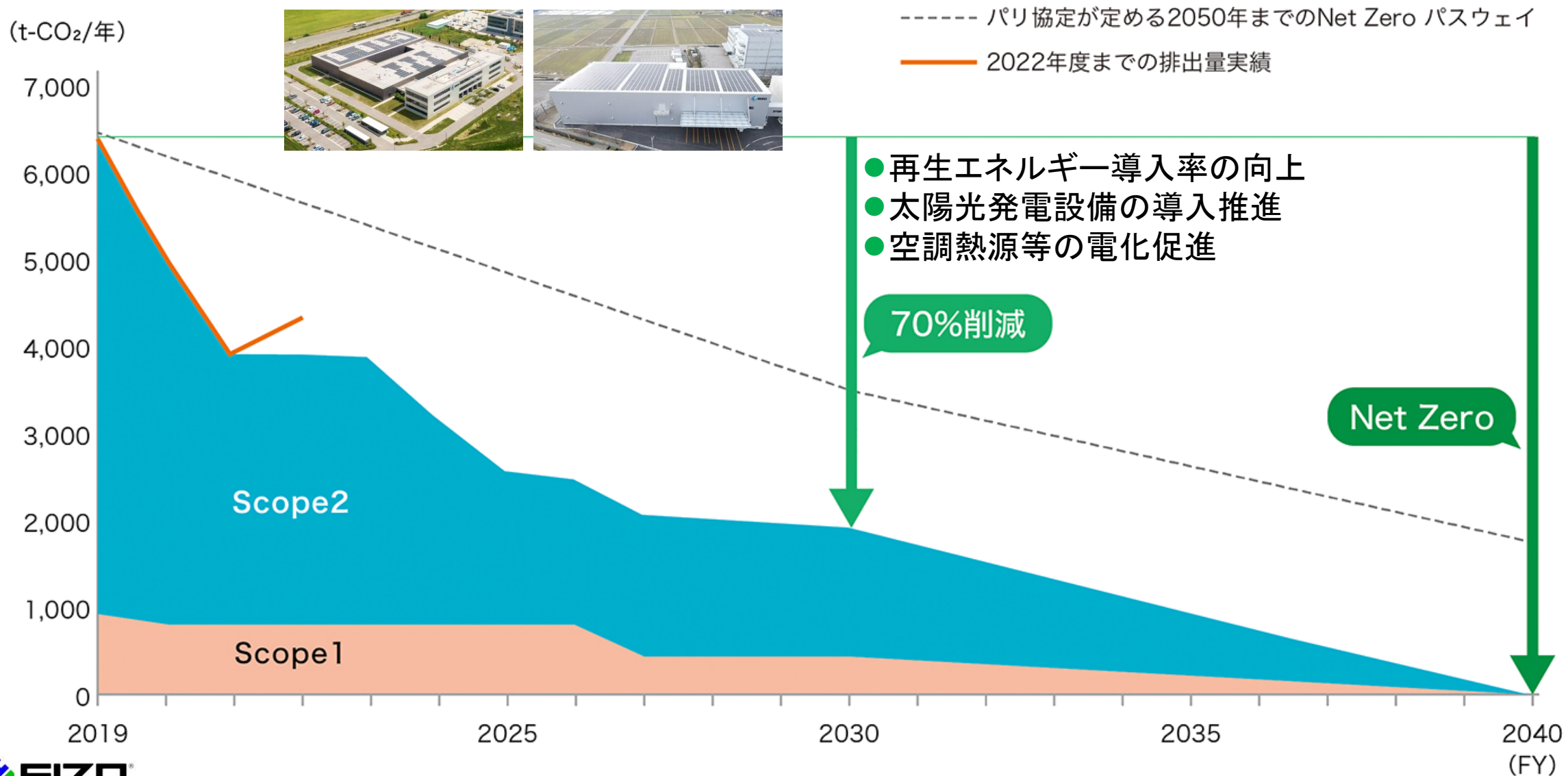
KPI

製品へのリサイクルプラ使用率
30F:70%
26F:45%
24F:20%

バリューチェーン上の人権リスク低減
24F~30F

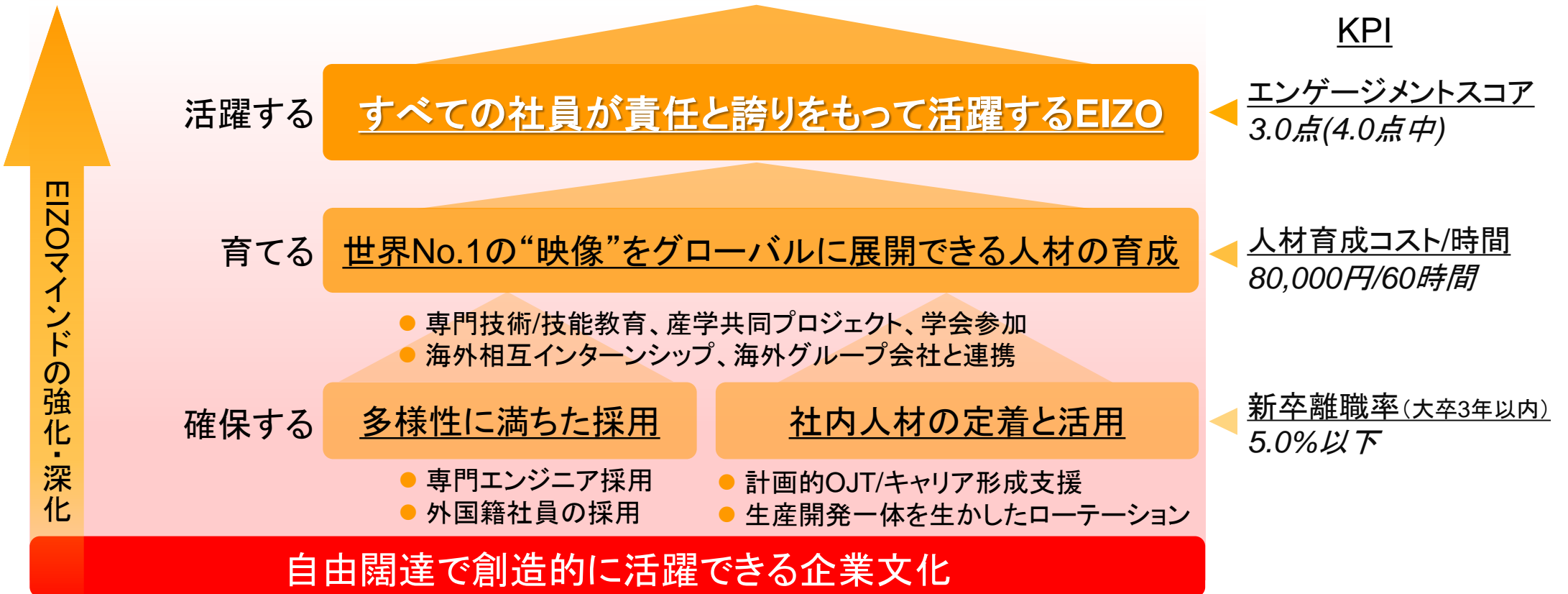
[その他のKPIや詳細:EIZO Webサイト「指標\(KPI\)と目標」](#)

低炭素移行計画 (Scope 1+2)



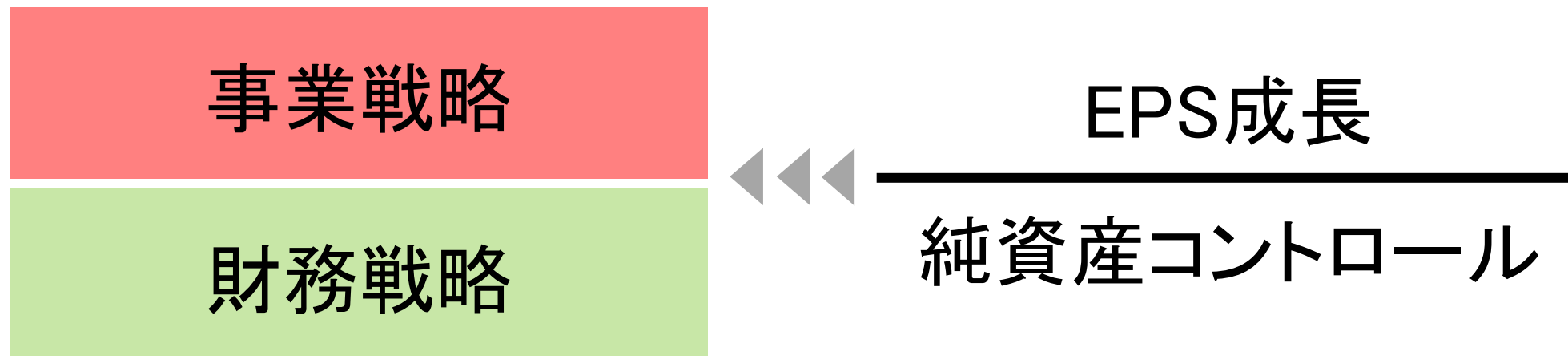
人的資本の最大化に向けて

- 映像技術のトップランナーとして、人的確保・育成に投資
- EIZOしかできない価値を届けるため、人的資本の価値を最大化



財務戦略

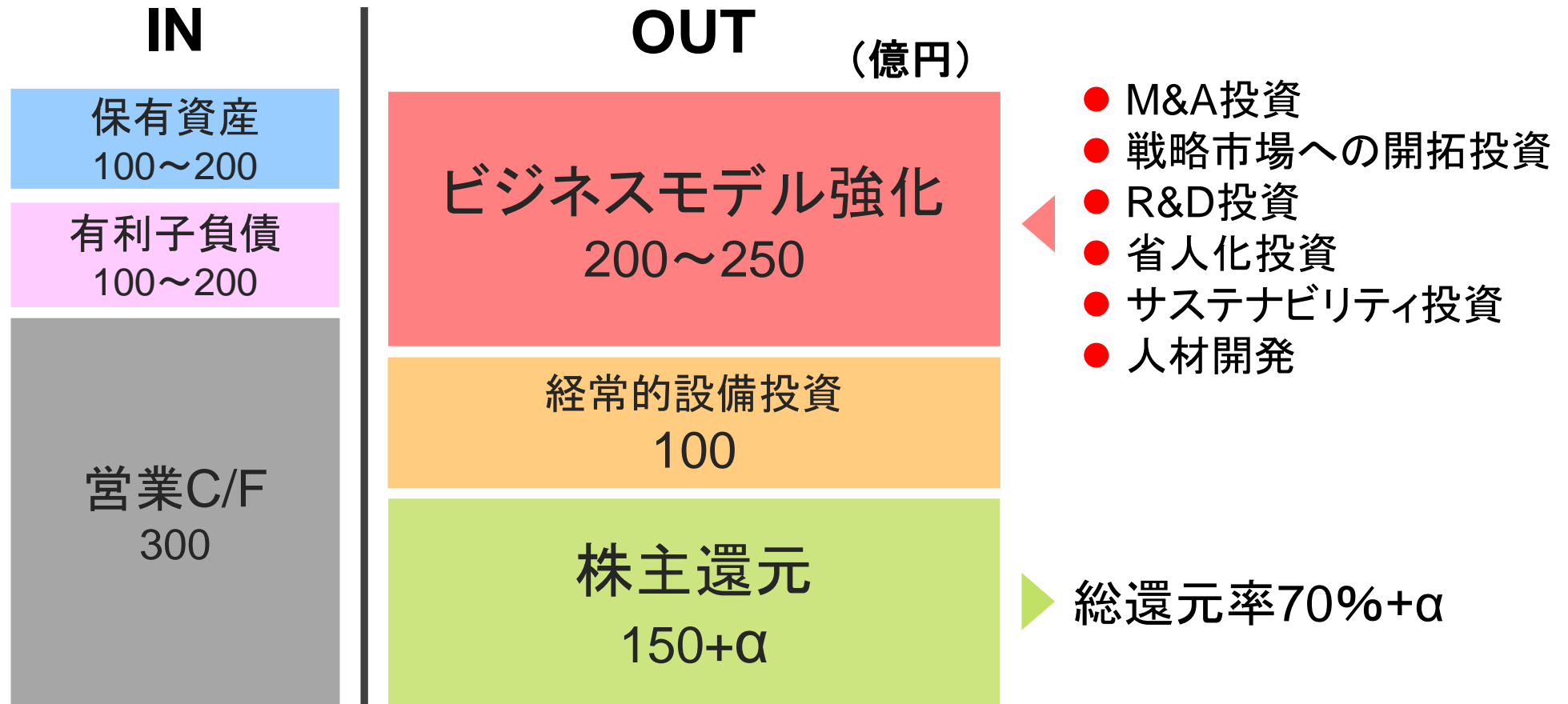
■ ROE 8%に向けて



- 財務基盤の維持 ……財務健全性を維持
- ビジネスモデル強化投資250億円 ……成長投資の積み上げ
- 株主還元強化を継続 ……総還元率70%+α

キャッシュアロケーション(24F~26F)

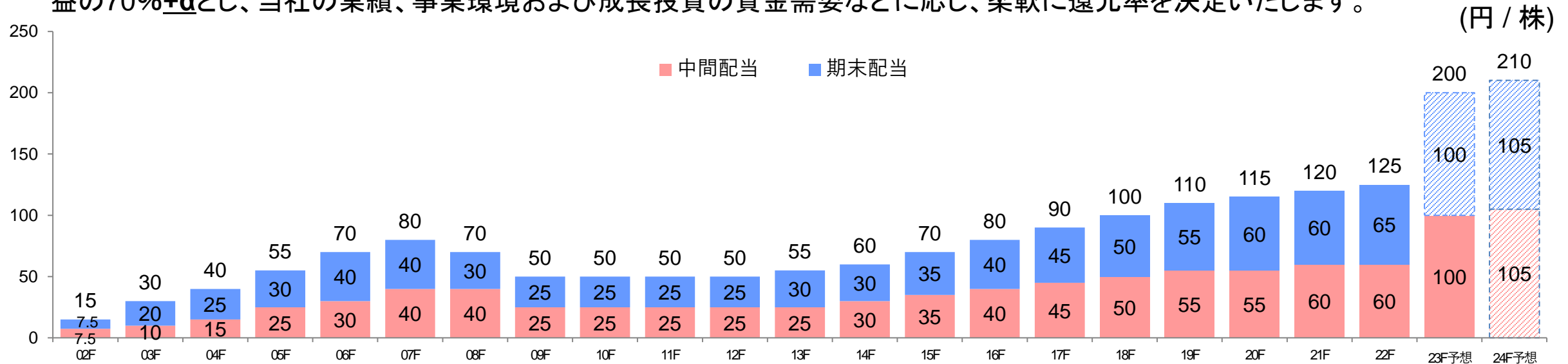
■ 中期的な企業価値に向けた成長投資と株主還元



株主還元

●株主還元方針

- ・当社は、事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付けております。23Fより、株主への還元率(総還元性向)の目標水準を当期純利益の70%(従来は40~50%)へと株主還元を強化しました。23Fにおいて11期連続の増配を予定しております。
- ・第8次中期経営計画期間(2024-2026年度)において、株主還元の強化を継続いたします。還元率の目標水準を連結当期純利益の70%+ α とし、当社の業績、事業環境および成長投資の資金需要などに応じ、柔軟に還元率を決定いたします。



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	44.5%	75.4%	86.4%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	92.2%	75.4%	86.4%

※22Fの還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 28億円を含みます

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2024年3月期は“23F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121



www.eizo.co.jp